

2020年4月30日

サッカーファミリーの皆様

一般社団法人 石川県サッカー協会
会長 小石 一寛

サッカーファミリーの皆様には、お元気でお過ごしでしょうか。

新型コロナウイルスの感染拡大により、サッカーに関わる機会、楽しみや喜びを徐々に奪われ、寂しさや悲しさ、苦しさや悔しさなどが胸にこみあげてきます。スポーツ（文化）が、そこに関わる人たちの健康と安全、安心の上に成り立っていること、そして何気なく過ごしている日常が至福の時であることを痛感します。

コロナウイルスとの戦い

現在、私たちの地元石川は勿論のこと、日本中、世界中の人たちが英知を結集して、この新型コロナウイルス感染症に立ち向かっています。経済や産業、芸術、芸能、スポーツなど様々なところに深刻な影響が出ています。そして何よりも、このウイルスは大切な人の尊い命を奪うことがあります。スポーツ界では士気を鼓舞するために「戦う」というフレーズがよく使われます。スポーツは知を伴った「競い」であり「戦い」ではありません。この度の次元の違う出来事は「戦い」です。ひるむことなく覚悟をもって、命と健康を守るためにコロナウイルスと戦い、勝たなくてはなりません。

リスペクトの心

サッカーとの関わりに五つの価値を意識しています。「エンジョイ」「プレーヤーズファースト」「フェア」「チャレンジ」そして、「リスペクト」です。関わりのある全てを大切に思うこと、これが「リスペクト」です。

未知なるがゆえの苦しい状況ですが、命を守る最前線の医療、福祉、介護、社会インフラに携わる方々など、私たちの日常を支えてくださる多くの方々を知り、異常の中で戦っておられる皆様の姿に心を打たれます。深く感謝を申し上げ、それぞれの皆様のご健康を願ってやみません。

今最も大切なことは、ご自身を含め、ご家族や友人知人、社会生活で関わりを持つ方々の命と健康を守ることではないでしょうか。そして、戦うべき相手は「コロナウイルス」であって、立ち向かうエネルギーが「人」の差別や偏見に向うことは断じて許されません。

今できること

現在、石川県サッカー協会は主催する全事業を休止しています。県サッカーの様々なステージを提供できないことを心苦しく思っています。FIFA、JFA、そして石川県サッカー協会はサッカーファミリーの皆様へ、今できることは何か・・・を模索しています。

「できること」を「すること」に変えてお伝えできるようにいたします。

そして、今できること

5月を迎えます。

「大切なことは何か」をしっかりと胸に刻み、私たちそれぞれができることを積み上げて、幸せである日常を取り戻しましょう。まずは、二週間後の未来のために。